

第39回下野市行政改革推進委員会 会議録

日 時 平成26年12月25日(木) 午後1時30分～3時00分
場 所 下野市役所国分寺庁舎 304会議室
出席委員 杉原弘修会長、飯島陽子委員、関口博之委員、長谷川増夫委員、
水上美紀委員、長光博委員、大木徳委員、
欠席委員 飯野洋委員、園部小由利委員、中林佳子委員
事務局 落合総合政策部長、星野総合政策課長、小谷野課長補佐、坂巻副主幹
傍聴者 なし

○次第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事
 - (1) 会議録署名人の指名
 - (2) 第34回～第38回下野市行政改革推進委員会会議録の確認
 - (3) 平成26年度下野市行政評価市民評価報告書(案)について
 - (4) 第三次下野市行政改革大綱(案)について
 - (5) その他
- 4 閉 会

○開会

(総合政策課長) ただいまより第39回下野市行政改革推進委員会を開会いたします。

○議事

(1) 会議録署名人の指名

(杉原会長) 会議録署名委員を指名します。名簿順で、長谷川委員と関口委員をお願いします。

(2) 第34回～第38回下野市行政改革推進委員会会議録の確認

(杉原会長) 事務局から説明をお願いします。

(事務局) 第34回から第38回の会議録については、事前に送付し内容等をご確認いただきました。結果、内容等の修正はなく文言等の修正について報告がありましたので、その部分については全て修正させていただいております。(修正箇所の説明)

(杉原会長) 改めて委員の皆様からご意見等ありますか。無いようでしたらこれで確定とさせていただきますが、よろしいでしょうか。

(委員) <異議なし>

(3) 平成26年度下野市行政評価市民評価報告書(案)について

(杉原会長) 平成26年度下野市行政評価市民評価報告書(案)について、事務局

より説明願います。

(事務局) 資料1に基づき説明

- ・市民評価報告書全体の構成の説明と変更点の説明をさせていただきます。
- ・委員の皆様にお送りする前に、各事業の評価内容については、杉原会長と直接打合せさせていただき評価内容の記載を行っています。
- ・全体の構成は目次のとおりです。
- ・はじめには、自治基本条例が施行されたことを含めて改めて市民評価の位置付けが述べられています。
- ・4ページですが、4公民館の管理運営事業については2事業分として評価を行ったため、評価対象事業が10事業ではなく9事業となっていることの説明を記載しています。
- ・6・7ページは前回の委員会で決定していただいた評価結果の総括となっています。
- ・8ページ以降が各事業の市民評価内容となっています。
- ・平成26年度市民評価報告書については次の2点で記載の仕方を変更しています。
- ・1つは、今年度の市民評価報告書はその他の個別意見が大変多くなっていますので、杉原会長との打ち合わせの中で、委員会として協議した結果としての評価内容が重要であることを鑑み、委員会評価結果・内容が埋没してしまわないように個別意見とのフォントのサイズやページ分けを行っています。もう1つは、反対意見については、何に対しての反対意見かが分かるように記載させていただいております。
- ・最終ページの来年度以降の運用改善に向けた個別意見については、委員から提出された意見をそのまま記載させていただいております。
- ・本日は内容について協議いただき、来年2月19日に市長に提出する市民評価報告書の最終決定をしていただきますようお願いいたします。

(杉原会長) 市民評価報告書(案)全体について、委員の皆様から改めてご意見等ございますか。無いようですので、事務事業別の委員会としての評価内容のまとめについて、資料をもとに委員の皆様のご意見を伺います。それでは、はじめに4公民館の管理運営事業についての評価内容の記載はいかがでしょうか。無いようですので、記載のとおりとし、次に社会福祉協議会育成事業についての評価内容の記載についてご意見ございますか。

(水上委員) 何と何の連携を密にするのかももう少し説明を加えたらいいと思います。

(杉原会長) 確におっしゃる通りです。住民と社会福祉協議会や市と社会福祉協議会など、何と何の連携なのか説明を加えたらいいと思います。

(事務局) 市が行っている社会福祉協議会育成事業についての事業評価となっていますので、ここでいう連携は、市と社会福祉協議会が連携を密にするということだと考えますがいかがでしょうか。

(水上委員) 市との連携という文言を加えればよろしいのでしょうか。

(杉原会長) 市と社会福祉協議会が連携を密にするということはある意味当然のことですので、むしろ水上委員のおっしゃる趣旨に合わせるとす

れば、事業内容に広く住民や社会福祉団体関係者に支えられた公共性を持つ社会福祉協議会と記載されていますので、住民や社会福祉団体関係者などとの連携を密にするというような内容の方が連携の趣旨がはっきりすると思います。みなさんいかがでしょうか。

(委員)

<異議なし>

(杉原会長)

それでは、今の内容で修正を行います。大変鋭いご指摘ありがとうございます。次のページに個別意見が記載されていますが、ご自身の意見で修正等ありますか。無いようですので、次のゆうゆう館管理事業の評価内容についてはいかがでしょうか。次頁には個別意見と反対意見が記載されています。先程説明があったように、何に対しての反対意見か分かるように記載しています。よろしいでしょうか。ご意見等無いようですので、次の(仮称)薬師寺地域交流センター建設事業の評価内容についてはいかがでしょうか。

(水上委員)

評価内容に記載の共通理解という言葉の前に、例えばコミュニティセンターや地域交流センターについての共通理解など、何についての共通理解か言葉を入れた方が分かりやすいと思います。

(関口委員)

ヒアリング資料の中にコミュニティ推進協議会設立に向けた協議を行うと記載されており、またヒアリング時においてもコミュニティ推進協議会について多くの意見が出されていたと考えますので、「コミュニティ推進協議会」という言葉の評価内容に入れるべきではないかと思います。意見交換とは、コミュニティ推進協議会のあり方も含めたものだと思いますので、コミュニティ推進協議会という言葉を入れて欲しいと思います。

(水上委員)

私の意見としては、委員会としての評価内容は大きなまとめとしてのものだと考えますので、委員の個別意見としての考えを入れるのではなく、もう少し幅広く、例えばコミュニティ活動についての共通理解とか、そういう言葉を入れられたらと思います。委員会の評価内容としては意味が大きくとらえられる内容で記載された方が良いと思います。

(会長)

今現在の評価内容では、「なお、建設前に市民と行政の間で十分な意見交換を行い、建設後における施設の管理運営等含めた共通理解を深めていくことが重要である。」としています。建設前に意見交換を行い、建設後に運営等についての共通理解を深めていくと時系列になっていますが、コミュニティ推進協議会という言葉を入れるとすれば、建設前なのか建設後なのか、お二人の委員はどのように考えていますか。

(水上委員)

コミュニティ推進協議会という言葉を入れるのであれば、「なお、コミュニティ推進協議会設立については、建設前に市民と行政の間で十分な意見交換を行い、建設後における施設の管理運営等含めた共通理解を深めていくことが重要である。」という、建設前も建設後も引き続きの意味になるような表現がいいかと思います。

- (杉原会長) 水上委員のご意見では、建設に関わる全てにコミュニティ推進協議会という言葉を入れて欲しいということですが、関口委員のご意見はどうですか。
- (関口委員) 私としては、前回の委員会でも申しましたが、コミュニティ推進協議会等を市としてどう考えているのか、どう定義しているのかの考えが抜けていると思っています。市としてコミュニティ推進協議会についてどのように考えるのか、そういったことも含めて委員会としての評価内容に反映できないのかと考えたところです。
- (落合総合政策部長) 評価対象事業は（仮称）薬師寺地域交流センター建設事業となっており、コミュニティ推進協議会についての評価ではありませんので、水上委員の意見を評価内容に入れるとすれば、「なお、設立予定のコミュニティ推進協議会と建設前に市民と行政の間で十分な意見交換を行い、建設後における施設の管理運営等含めた共通理解を深めていくことが重要である。」との記載になると思いますが、いかがでしょうか。
- (水上委員) 私もそのように思います。もしくは、コミュニティ推進協議会の設立及び活動についてなどの言葉を入れれば、関口委員がおっしゃっていることも含む表現になると思います。
- (杉原会長) 私の考えはみなさんとちょっと違うかもしれないので誤解があったら言っていただければと思います。みなさんがおっしゃるコミュニティ推進協議会というものの定義がはっきりしていないところで、コミュニティ推進協議会という固有名詞を評価内容に入れることは、この委員会が、コミュニティ推進協議会というものを一体どう理解しているのかという説明責任がでてくるものと思われま。例えば、水上委員がおっしゃるコミュニティセンター推進協議会という理解のもと、コミュニティ推進協議会という言葉を使うのかどうかということです。結局は、地域住民が納得できる方法を協議してもらうための組織が必要だということで考えますと、コミュニティ推進協議会等の固有名詞ではなく、「なお、地域コミュニティの活力を一層推進するために、建設前に市民と行政の間で十分な意見交換を行い、建設後における施設の管理運営等含めた共通理解を深めていくことが重要である。」という評価内容とし、具体的な組織の定義は今後活発な意見交換をしていただければと考えます。ただ活発な議論をしていただくための契機となるような評価内容を委員会として提示するというのであれば、このような文章で評価内容をまとめられないかなと考えていました。委員のみなさんいかがでしょうか。
- (水上委員) 私は杉原会長のご意見でいいかと思。ここで固有名詞をだす必要はないと思。コミュニティ推進協議会というのは、グリーントウンコミュニティ推進協議会を例にすれば、建物が建設され、指定管理者協定を締結するに当たり、協定を受託する側の団体が必要ということで設立される施設と密接に結び付いた団体になると考えますが、

地域交流センターの建設に当たっては、コミュニティ推進協議会設立の経緯や自治会との結びつきなど、住民の中で理解が進まず、利用だけが進んでいくということがないように市としても交通整理して欲しいということが、私も関口委員も共通して思っていることだと考えます。具体的にどのような組織・形態がいいのかは、その地区その地区で違うと思いますので、地域の特性を生かしながら、地域住民の間でも共通理解を深めていただけたらと思いますので、杉原会長のご意見でよろしいと思います。

(大木委員) 私としては、建設前や建設後と記載するのではなく、建設に当たってはと総括していいかと思います。また、コミュニティ推進協議会のごとで議論になっていますが、委員会の付帯意見として、建設に当たってはコミュニティ推進協議会の意見を充分尊重すべきだというような記載を考えてもいいのではないかと思います。最後に、反対意見における委員の個別意見が大変多くなっていますが、委員会の報告書としてよろしいのでしょうか。

(杉原会長) 個別意見については、削除すべき積極的な意見がないと削除できないものと考えます。個別意見は各委員の責任において記載すべきであり、委員会としては責任は持ちません。委員会としては評価内容については責任を持ちますが、個別意見や反対意見については、差別用語等の確認はしますが、それ以外は、数字に間違いがあっても、表現に食い違いがあっても構わないと考えます。私はそれが個別意見と考えます。今回の報告書でページ等を変えたのは、まさにその辺の違いを明確にするためです。この報告書を読む市民にも説明がしやすいと思います。話が戻りますが、コミュニティ推進協議会というものはあるとしても固有名詞としては、評価内容の中では使用しない方が良いのではないかと考えていますがみなさまいかがですか。

(関口委員) 私は、個別意見や反対意見の記載の中に、コミュニティ推進協議という言葉が多く使われているので、委員会としての評価内容の中に記載が必要ではないかと思い発言しました。ヒアリング資料ではコミュニティ推進協議会を設立すると記載がありましたが、コミュニティ推進協議会とは何なのかを明確にして欲しいという意味も込めて評価内容に記載できないのかと思いました。

(水上委員) コミュニティ推進協議会というものの定義付けをしてもらいたいというのは関口委員の個別意見で、委員会としての評価内容は杉原会長の全体の総括としてのご意見がいいかと思います。

(杉原会長) 委員会としては、(仮称)薬師寺地域交流センターの建設事業における組織の設立については、一番いい方法を将来考えてもらうものとして、地域コミュニティを推進するための意見交換が必要であると、大きくまとめて評価内容とすることがいいかと考えますがいかがでしょうか。

(関口委員) ヒアリング資料では、関係自治会から2名選出してコミュニティ推進

協議会の設立に向けた準備を行うとなっていたので、委員会としての評価内容にも、それらのことを記載したほうがいいと思った次第です。私の意見は個別意見に記載されていますので、評価内容には記載しないということであればそれで構いません。

(杉原会長) まとめますと先程の言葉を挿入するということで、「なお、地域コミュニティの活力を一層推進するために、建設前に市民と行政の間で十分な意見交換を行い、建設後における施設の管理運営等含めた共通理解を深めていくことが重要である。」という評価内容とすることでよろしいでしょうか。

(委員) <異議なし>

(杉原会長) 先程大木委員から個別意見について意見があり、個別意見は委員会として責任を取るという意見ではなく、禁止用語以外は全て記載すべきという考えを申しましたが、委員のみなさんに確認したいと思います。よろしいでしょうか。

(委員) <異議なし>

(落合総合政策部長) 最後に、評価内容の記載で、薬師寺地区が活力ある地域を取り戻せればという記載がありますが、市民評価の中で記載されるのであれば、「薬師寺地区の活性化が図られ、今後の発展も期待されるため」とした文言が市民評価としての表現としてはいいのではないかと提案させていただきます。いかがでしょうか。

(杉原会長) 市民評価としての表現としては今の提案がいいと思いますが、みなさんよろしいでしょうか。

(委員) <異議なし>

(杉原会長) では修正させていただきます。続いて住宅用太陽光発電システム設置費補助事業の評価内容についてはいかがでしょうか。

(落合総合政策部長) 評価対象事業は住宅用太陽光発電システムのことですが、反対意見にはメガソーラーのことが記載されていると思います。内容が違う事が書かれていますがこのままでよろしいでしょうか。

(関口委員) 私の意見ですが、住宅用太陽光発電システムについても、蓄電も含め問題があると考えていますので、そのような記載に修正したいと思います。

(杉原会長) 先程申しましたように、数字の間違いや表現の間違いを含めて、全て個人の意見ということで理解していただければと思いますので、こういった反対意見があったということは、それはそれで構わないと私は思っています。関口委員が出された反対意見ですので、誤解に基づく反対意見ではおかしいと判断し、変えたいという事であれば修正していただければと思います。

(長委員) 太陽光発電全体を考えるとすれば、このままで構わないのではないですか。

(水上委員) 事業に即した内容を書くのが必要だと思いますので、事業に即した内

容を記載しつつ、この大規模発電についての意見も併記しておくことがいいかと思います。

(長委員) 私としては、太陽光発電全体を考えるといろいろと記載されていると思います。

(杉原会長) 修正の文章は関口委員にお任せします。続いて中小企業制度融資事業です。評価内容等いかがでしょうか。意見等無いようですので確定とし、続いて広報ラジオ番組制作事業です。辛口の評価内容となっていますが、市民評価の結論が、市評価が高すぎるためやや妥当とは思われなくなっていますのでこのような評価となっています。よろしいでしょうか。続いて河川管理事業です。評価内容等いかがでしょうか。よろしいでしょうか。最後に仁良川地区土地区画整理事業になります。評価内容等いかがでしょうか。市民評価は市の評価が妥当であるとしていますので簡潔に記載しています。よろしいでしょうか。最終ページの来年度以降の行政評価の運用改善に向けた個別意見は記載のとおりです。全体を通して、改めて委員からご意見等ありますか。無いようですので、今回の協議で出ました修正意見を反映した報告書を作成し、委員会としての報告書の決定とさせていただきます。ありがとうございました。

(4) 第三次下野市行政改革大綱（案）について

(杉原会長) 第三次行政改革大綱（案）について事務局から説明をお願いします。

(事務局) 資料2に基づき説明

- ・第三次行政改革大綱（案）につきましては、11月20日の委員会で協議いただき、大綱の構成や重点項目等の設定についてはご了承いただき、市民目線での文言の修正や、用語の解説についてのご意見をいただきました。その時のご意見を受けて庁内において協議し、文言の修正、及び委員会時に出された用語についての説明として用語集を最終ページに付けています。
- ・10ページ下野市自治基本条例の推進という言葉については、下野市自治基本条例に基づくまちづくりの推進としました。
- ・委員会時には委員の皆様からいろいろなご意見をいただきましたが、副市長から説明があったように、大綱そのものは市における行政改革の理念を示しているものとなります。大綱をホームページ等で公開する際には、現在の財政状況や職員状況等が分かりやすいように、財政計画や職員定員適正化計画、その他の計画にリンクするように工夫していきたいと思います。また新庁舎には、市の情報を一括するコーナー等を設置する予定ですので、行政改革の進捗状況等含めて、そういった場を活用し情報提供していきたいと思います。
- ・大綱（案）につきましては、委員会からのご意見をいただいて修正した今回の（案）でパブリックコメントを行い、市民の皆様からご意見をうかがうこととなっています。意見等あった場合、再度内部で協議し、最終的な決定を行うこととなっていますので、次回の委員会で報告させていただきます。

(杉原会長) 大綱(案)案についてはみなさんからの意見・提言により用語集が付いています。市民の方にとっても分かりやすい内容になっていると思います。よろしいでしょうか。

(委員) <異議なし>

(5) その他

(杉原会長) その他について事務局から今後の日程等説明をお願いします。

(事務局) 前回の委員会で説明させていただきましたが、次回2月19日開催の委員会が今年度最後の委員会となり、市民評価報告書の市長への提出、及び意見交換を予定しています。

また、第三次行政改革大綱については、パブリックコメント後の対応を含めて最終決定したものをご報告いたします。同時に現在取りまとめ中の実施計画についてお示しし、ご意見等いただく予定となっておりますのでよろしくお願いします。

(杉原会長) 以上で議題は終了となりますが、何か質問等ございますか。

(大木委員) 実施計画は事前に配布されますか。

(事務局) 2週間前を目処に事前に送付します。

(杉原会長) 委員の皆様お疲れ様でした。他に意見等無いようですので、本日の議事はこれで終了いたします。

○閉会

(総合政策課長) 以上をもちまして、第39回下野市行政改革推進委員会を閉会いたします。

以上